

2017年3月期 決算



現況と今後の展望(決算説明会資料)



ラウンドワンストーンクレスト店
米国ジョージア州リソニア
2017年3月3日オープン!

株式会社ラウンドワン

代表取締役社長 杉野 公彦

東京証券取引所 市場第1部

Code Number: 4680

2017年5月9日

連結決算の分析① 2017年3月期実績【前年対比】



(単位:億円) ※小数点第2位以下は切り捨て表示

		単位	2016年3月期実績 (2015.4~2016.3)	2017年3月期実績 (2016.4~2017.3)	増減
店舗	期末店舗数	店舗数	122	122	① -
	期中店舗稼働月数	月数	1,443	1,452	+9
損益	ボウリング		230.3	229.1	△1.1
	アミューズメント		365.8	405.3	+39.4
	カラオケ(米国はその他含む)		87.8	91.3	+3.4
	スポッチャ		121.9	122.7	+0.7
	その他		29.2	29.2	△0.0
	総売上		835.1	877.7	+42.5
	売上原価		750.9	788.4	+37.5
	売上総利益		84.2	89.3	+5.0
	販売費及び一般管理費		20.5	22.5	+1.9
	営業利益		63.6	66.8	+3.1
	営業外損益		△9.6	△8.2	+1.4
	経常利益 ②		54.0	58.5	+4.5
	売上高経常利益率		6.5%	6.7%	+0.2%
	特別損益		△35.0	③ △22.7	+12.3
税引前当期純利益		18.9	35.8	+16.9	
法人税等		14.4	④ 8.5	△5.9	
当期純利益		4.4	27.3	+22.8	

①【増減】

国内:出店 2店舗 退店 8店舗 米国:出店 6店舗

②【経常利益の差異要因】

2016年3月期 決算実績	経常利益	+54.0億円
【国内】国内売上増加		+21.7億円
水道光熱費減少(燃料調整費下落の為)		+5.9億円
人件費増加(労働時間増加及び時給UP)		△6.2億円
リース料増加(新規アミューズ機器購入)		△4.4億円
販売促進費増加 (ボウリンググッズ増、カードゲーム売上増)		△3.7億円
通信費増加(アミューズ売上増加に伴う)		△2.8億円
仕入増加 (フリートリンク充実による増・プロショップ仕入増)		△2.4億円
消耗品費増加(LED購入他)		△2.1億円
修繕費増加(カーペット張替他)		△1.7億円
その他		△1.7億円
【米国】米国損益(※下表)		+1.9億円
2017年3月期 決算実績	経常利益	+58.5億円

※【米国損益の状況】

	2016年3月期 決算実績	2017年3月期 決算実績	増減
売上	51.6億円	72.5億円	20.8億円増収
費用	49.2億円	68.0億円	18.8億円増加
経常利益	2.4億円	4.4億円	1.9億円増益

③【特別損益△22.7億円の内訳】

※減損損失△14.8億円(国内10店舗、米国1店舗)
 ※退店損失(8店舗分)△4.2億円
 ※災害損失(熊本地震)△0.6億円 ※地震保険収入+0.6億円
 ※固定資産除却損等(アミューズ基板他)△3.6億円

④【法人税等の要因】3頁参照

連結決算の分析② 2017年3月期実績【計画対比】



(単位:億円) ※小数点第2位以下は切り捨て表示

		単位	2017年3月期 計画 (2016.4~2017.3)	2017年3月期 実績 (2016.4~2017.3)	増減
店舗	期末店舗数	店舗数	122	122	—
	期中店舗稼働月数	月数	1,454	1,452	△2
損益	ボウリング		224.1	229.1	+5.0
	アミューズメント		399.0	405.3	+6.3
	カラオケ (米国はその他含む)		88.4	91.3	+2.9
	スポッチャ		121.0	122.7	+1.7
	その他		29.5	29.2	△0.2
	総売上		862.0	877.7	+15.7
	売上原価		777.9	788.4	+10.5
	売上総利益		84.1	89.3	+5.2
	販売費及び一般管理費		21.5	22.5	+1.0
	営業利益		62.6	66.8	+4.2
	営業外損益		△7.6	△8.2	△0.6
	経常利益 ①		55.0	58.5	+3.5
	売上高経常利益率		6.4%	6.7%	+0.3%
	特別損益		△25.0	② △22.7	+2.2
税引前当期純利益		30.0	35.8	+5.8	
法人税等 ③		15.0	8.5	△6.4	
当期純利益		15.0	27.3	+12.3	

①【経常利益の差異要因】

2017年3月期計画	経常利益	+55.0億円
【国内】国内売上増加		+8.2億円
リース料減少 (AM機器販売遅れ等)		+1.4億円
人件費増加 (労働時間増加と時給UP)		△3.0億円
消耗品費増加 (アミューズ売上増に伴う修理部品等)		△2.4億円
修繕費増加 (カーペット張替、空調修理他)		△1.9億円
販売促進費増加 (アミューズ景品費増)		△1.5億円
その他		+1.3億円
【米国】米国損益 (※下表)		+1.4億円
2017年3月期実績	経常利益	+58.5億円

※【米国損益の状況】

米国	2017年3月期 計画	2017年3月期 実績	増減
売上	65.0億円	72.5億円	7.5億円増収
費用	62.0億円	68.0億円	6.0億円増加
経常利益	3.0億円	4.4億円	1.4億円増益

②【特別損益△22.7億円の内訳】

- ※減損損失 (国内10店舗、米国1店舗) △14.8億円
- ※退店損失 (国内8店舗分) △4.2億円
- ※災害損失 (熊本地震) △0.6億円
- ※地震保険収入 +0.6億円
- ※固定資産除却損等 (アミューズ基板他) △3.6億円

③【法人税等の要因】 3頁参照

2017年3月期 法人税等の増減要因（計画と実績）



	2017年3月期 計画	2017年3月期 実績	増減
国内	14.8億円	6.0億円	△8.7億円
米国	0.2億円	2.5億円	+2.3億円
連結	15.0億円	8.5億円	△6.4億円

※小数点第2位以下は切り捨て表示

※欠損金とは課税所得がマイナスのこと。

2017年3月期増減要因

《国内》

※欠損金となったことにより、利益による納税の必要がなくなった影響金額 △5.1億円

（2017年3月期計画での8店舗退店による確定損失の見込違い）

※欠損金になったことにより、繰延税金資産の減少影響金額 △3.6億円 ⇒ 計8.7億円減少

《米国》

※税効果会計を導入したことによる影響金額 +2.0億円（監査法人と協議の結果、計上）

※その他（州税等）+0.3億円 ⇒ 計2.3億円増加

2018年3月期 連結計画 出退店数と損益



※小数点第2位以下は切り捨て表示

		単位	2017年3月期実績			2018年3月期計画			増減		
			連結	国内	米国	連結	国内	米国	連結	国内	米国
店舗	新規出退店数 ① 14頁、15頁、17頁を参照	店舗数	±0	△6	+6	+10	+1	+9	+10	+7	+3
	総店舗数(期末)	店舗数	122	107	15	132	108	24	+10	+1	+9
	【内訳】所有店舗(土地建物及び建物躯体)	店舗数	24	24	—	24	24	—	—	—	—
	賃借店舗(内装のみ)	店舗数	98	83	15	108	84	24	+10	+1	+9
	総店舗稼働月数	月数	1,452	1,322	130	1,498	1,289	209	+46	△33	+79
損益	ボウリング	億円	229.1	216.8	12.2	237.2	218.5	18.7	+8.0	+1.6	+6.4
	アミューズメント	億円	405.3	359.0	46.2	434.1	360.0	74.1	+28.7	+0.9	+27.8
	カラオケ (米国はその他含む)	億円	91.3	77.3	13.9	97.7	76.5	21.2	+6.3	△0.8	+7.2
	スポッチャ	億円	122.7	122.7	—	124.0	124.0	—	+1.2	+1.2	—
	その他	億円	29.2	29.2	—	29.0	29.0	—	△0.2	△0.2	—
	総売上	億円	877.7	805.2	72.5	922.0	808.0	114.0	+44.2	+2.7	+41.4
	営業利益	億円	66.8	61.8	4.9	71.7	64.0	7.7	+4.8	+2.1	+2.7
	経常利益	億円	58.5	54.1	4.4	67.0	60.0	7.0	+8.4	+5.8	+2.5
	売上高経常利益率	%	6.7%	6.7%	6.1%	7.3%	7.4%	6.1%	+0.6%	+0.7%	+0.0%
	当期純利益 ②	億円	27.3	28.5	△1.1	36.0	34.7	1.3	+8.6	+6.1	+2.4

(注) ① 2017年3月期実績：出店店舗（国内2店舗、米国6店舗）、退店店舗（国内8店舗） 2018年3月期計画：出店店舗（国内1店舗、米国9店舗）

② 当期純利益の計算式：

【2017年3月期 実績】 経常利益58.5億円 - 減損損失19.0億円※1 - アミューズメント基板除却等3.6億円 - 法人税等8.5億円 = 当期純利益27.3億円
 ※1：うち減損11店舗（国内10店舗15.9億円、米国1店舗3億円）、退店損失（国内8店舗4.2億円）
 【2018年3月期 計画】 経常利益67.0億円 - 減損損失13.0億円※2 - アミューズメント基板除却等4.0億円 - 法人税等14.0億円 = 当期純利益36.0億円
 ※2：うち減損8店舗見込（国内7店舗9億円、米国1店舗4億円）

国内売上及び国内既存店前年対比（実績と計画）



2017年3月期実績 国内売上及び国内既存店前年対比

店舗数は14頁、17頁を参照してください。

※小数点第2位以下は切り捨て表示

	単位		第1四半期		第2四半期		上期		第3四半期		第4四半期		下期		通期	
			売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比
			ポウリング	億円	%	50.9	△0.1	52.8	△5.1	103.7	△2.7	47.5	△0.7	65.5	+2.6	113.0
アミューズメント	億円	%	84.9	+5.7	95.7	+5.3	180.7	+5.5	83.8	+2.8	94.4	+8.2	178.3	+5.6	359.0	+5.5
カラオケ	億円	%	18.4	△2.4	20.1	△1.1	38.6	△1.7	18.2	+1.1	20.4	+4.6	38.7	+2.9	77.3	+0.6
スポッチャ	億円	%	26.7	△0.5	31.6	△10.2	58.3	△6.0	25.4	△2.7	38.9	+3.3	64.3	+0.9	122.7	△2.5
その他	億円	%	7.2	+8.8	7.4	△2.5	14.7	+2.8	6.8	△2.8	7.6	+2.0	14.4	△0.3	29.2	+1.2
総売上	億円	%	188.3	+2.5	207.9	△1.0	396.2	+0.6	181.8	+0.7	227.0	+5.1	408.9	+3.1	805.2	+1.9
各期末 国内全店舗／既存店舗			113／111		109／107		109／107		109／106		107／105		107／105		107／105	

2018年3月期計画 国内売上及び国内既存店前年対比

※小数点第2位以下は切り捨て表示

	単位		第1四半期		第2四半期		上期		第3四半期		第4四半期		下期		通期	
			売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比
			ポウリング	億円	%	50.8	+4.0	52.6	+2.8	103.5	+3.4	47.4	△0.5	67.5	+1.5	115.0
アミューズメント	億円	%	85.9	+2.2	95.0	△0.3	181.0	+0.9	82.5	△1.3	96.4	+1.2	179.0	+0.1	360.0	+0.5
カラオケ	億円	%	17.7	+1.1	19.7	+1.9	37.5	+1.5	18.0	△0.6	20.9	+0.5	39.0	+0.0	76.5	+0.7
スポッチャ	億円	%	27.4	+1.6	32.0	+1.4	59.5	+1.5	25.1	△1.3	39.3	+1.2	64.5	+0.2	124.0	+0.8
その他	億円	%	7.1	+2.2	7.3	+1.7	14.5	+2.0	6.7	△0.3	7.7	+0.2	14.5	+0.0	29.0	+1.0
総売上	億円	%	189.1	+2.5	206.8	+1.0	396.0	+1.7	179.9	△1.0	232.0	+1.2	412.0	+0.2	808.0	+1.0
土日祝回数前年対比	日数		△1		±0		△1		△1		+1		±0		△1	
各期末 国内全店舗／既存店舗			107／106		107／106		107／106		108／107		108／107		108／107		108／107	

米国売上及び米国既存店前年対比（実績と計画）



2017年3月期実績 米国売上及び米国既存店前年対比 前年対比はドル比較

店舗数は14頁、15頁、17頁を参照してください。

※小数点第2位以下は切り捨て表示

	単位		第1四半期		第2四半期		上期		第3四半期		第4四半期		下期		通期	
			売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比
			ボウリング	億円	%	2.6	+12.2	2.6	+2.0	5.2	+6.4	2.9	△1.1	3.9	△7.1	6.9
アミューズメント	億円	%	9.1	+17.7	10.3	△1.9	19.5	+6.0	11.0	+2.9	15.6	+0.3	26.7	+1.4	46.2	+3.2
カラオケその他※	億円	%	2.7	+10.7	2.8	+1.9	5.6	+5.7	3.5	+3.1	4.7	+1.4	8.3	+2.1	13.9	+3.5
総売上	億円	%	14.5	+15.2	15.8	△0.5	30.4	+6.0	17.5	+2.2	24.4	△0.8	42.0	+0.4	72.5	+2.6
各期末 米国全店舗／既存店舗			10／6		11／7		11／7		12／8		15／9		15／9		15／9	
ドル換算レート	円		108.1		105.2		105.2		106.6		108.3		108.3		108.3	

2018年3月期計画 米国売上及び米国既存店前年対比 前年対比はドル比較

※小数点第2位以下は切り捨て表示

	単位		第1四半期		第2四半期		上期		第3四半期		第4四半期		下期		通期	
			売上	前年比												
			ボウリング	億円	%	3.9	△0.8	4.1	△1.4	8.1	△1.1	4.4	△2.0	6.1	△1.1	10.6
アミューズメント	億円	%	15.5	△2.0	16.7	△3.6	32.3	△2.9	16.2	△4.4	25.5	△0.8	41.8	△2.3	74.1	△2.6
カラオケその他※	億円	%	4.5	+3.8	4.5	+6.3	9.1	+5.1	5.1	+2.5	6.9	+1.4	12.1	+1.9	21.2	+3.2
総売上	億円	%	24.0	△0.7	25.4	△1.5	49.5	△1.1	25.8	△2.6	38.6	△0.4	64.5	△1.3	114.0	△1.2
各期末 米国全店舗／既存店舗			15／10		16／11		16／11		18／11		24／13		24／13		24／13	

【注意】売上は、1ドル=110円で算出しております。 ※カラオケその他売上の大部分は飲食収入であります。

2018年3月期計画 策定根拠



【国内売上 2.7億円増収の主な要因（対前期）】

※小数点第2位以下は切り捨て表示

・既存店前年対比年間+1.0%を設定	7.5億円増（前期実績 791.0億円 ⇒ 当期計画 798.5億円）
・新規店舗（12ヶ月未満稼働店舗）	8.2億円増（前期実績 ー億円 ⇒ 当期計画 8.2億円）
・退店店舗（8店舗、46ヶ月分稼働月数減少）	13.0億円減（前期実績 13.0億円 ⇒ 当期計画 ー億円）

【国内費用 0.7億円減益及び営業外損益 3.7億円増益の主な要因（対前期）】

◆人件費増加(労働時間増加、アルバイト時給UP)	5.0億円減益	(前期実績 194.5億円 ⇒ 当期計画 199.6億円)
減益要因 ◆リース料増加(AM機器購入増加による)	5.7億円減益	(前期実績 82.5億円 ⇒ 当期計画 88.3億円)
◆賃借料増加(湘南平塚店、吉祥寺店等出店による)	3.3億円減益	(前期実績 146.0億円 ⇒ 当期計画 149.3億円)
◆広告宣伝費増加(CM及びタレント出演料による増加)	1.9億円減益	(前期実績 14.2億円 ⇒ 当期計画 16.2億円)
◆退店によるコスト減少(8店舗分)	16.2億円増益	(前期実績 16.2億円 ⇒ 当期計画 ー億円)
増益要因 ◆営業外費用(為替差損と支払利息の減少)	4.0億円増益	(前期実績 8.9億円 ⇒ 当期計画 4.9億円)

【特別損益 5.7億円増益の主な要因（対前期）】

主な要因：減損見込5.4億円減額 前期実績18.4億円（減損11店舗と退店8店舗）⇒ 当期計画13.0億円（減損8店舗）

【米国損益 2.5億円増益の主な要因（対前期）】

売上 114.0億円（既存店前年対比△1.2%を前提）209ヶ月稼働

経常利益 前期実績 4.4億円 ⇒ 当期計画 7.0億円（新規出店9店舗：開業費4.5億円含む）

2018年3月期 連結計画 キャッシュ・フロー



※小数点第2位以下は切り捨て表示

		単位	2017年3月期実績	2018年3月期計画
資金	当期純利益	億円	27.3	36.0
	法人税等（引当・納付・還付・未収還付を合算表示）①	億円	+11.9	+15.6
	資金の流出を伴わない損失（減損損失等）	億円	+22.7	+17.0
	配当金額	億円	△19.0	△19.0
	減価償却費（リース取引を除く）②	億円	+37.6	+41.3
	簡易キャッシュ・フロー	億円	+80.5	+90.9
	設備投資額（リース取引を除く）③	億円	△51.2	△67.0
	保証金の差入れ及び返還	億円	+5.2	+2.0
	セール・アンド・リースバックの実施による資金の増加④	億円	+14.6	—
	簡易フリーキャッシュ・フロー	億円	+49.1	+25.9
	現預金残高	億円	201.9	197.9
	有利子負債残高（リース債務除く）	億円	164.4	134.4
	実質有利子負債残高	億円	△37.5	△63.5

(注)① 2017年3月期実績の法人税等 +11.9億円の内訳

◆引当分+8.5億円 還付分+3.4億円

② 2017年3月期実績の減価償却費・国内:28.7億円/米国:8.8億円

③ 2017年3月期実績の設備投資額 +51.2億円の内訳

◆新規店舗:38.2億円(国内:2店/6.5億円 米国:6店/31.6億円)

◆既存店舗:13.0億円(国内:12.4億円 米国:0.6億円)改装他

④ 2017年3月期セール・アンド・リースバックの実施店舗は2店舗であります。

2018年3月期計画の法人税等 +15.6億円の内訳

◆引当分+14.0億円 還付分+1.6億円

2018年3月期計画の減価償却費・国内:27.0億円/米国:14.3億円

2018年3月期計画の設備投資額 +67.0億円の内訳

◆新規店舗:47.0億円(国内:1店/4.0億円 米国:9店/43.0億円)

◆既存店舗:20.0億円(国内:19.5億円 米国:0.5億円)改装他

損益推移



損益の推移（連結）

（単位未満は切り捨て表示）

3月期	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年計画
期末店舗数	94	105	109	110	113	114	118	122	122	132
総売上	779億円	821億円	843億円	895億円	859億円	842億円	839億円	835億円	877億円	922億円
営業利益	136億円	120億円	114億円	160億円	115億円	100億円	66億円	63億円	66億円	71億円
経常利益	97億円	78億円	69億円	114億円	82億円	78億円	61億円	54億円	58億円	67億円
経常利益率	12.6%	9.6%	8.2%	12.8%	9.6%	9.3%	7.3%	6.5%	6.7%	7.3%
当期純利益	39億円	33億円	△126億円	27億円	6億円	△197億円	△45億円	4億円	27億円	36億円

損益の推移（国内）

3月期	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年計画
期末店舗数	94	105	108	109	111	111	113	113	107	108
総売上	779億円	821億円	839億円	890億円	851億円	829億円	819億円	783億円	805億円	808億円
営業利益	136億円	120億円	114億円	160億円	115億円	100億円	67億円	60億円	61億円	64億円
経常利益	97億円	78億円	70億円	114億円	82億円	78億円	62億円	51億円	54億円	60億円
経常利益率	12.6%	9.6%	8.3%	12.8%	9.7%	9.4%	7.6%	6.6%	6.7%	7.4%
当期純利益	39億円	33億円	△125億円	27億円	6億円	△196億円	△44億円	2億円	28億円	34億円

損益の推移（米国）

3月期	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年計画
期末店舗数			1	1	2	3	5	9	15	24
総売上			3億円	5億円	7億円	12億円	19億円	51億円	72億円	114億円
営業利益			△0億円	0億円	0億円	△0億円	△0億円	2億円	4億円	7億円
経常利益			△0億円	0億円	△0億円	△0億円	△0億円	2億円	4億円	7億円
経常利益率			-	2.6%	-	-	-	4.7%	6.1%	6.1%
当期純利益			△0億円	0億円	△0億円	△0億円	△0億円	2億円	△1.1億円	1.3億円

既存店売上前年比の推移(国内)

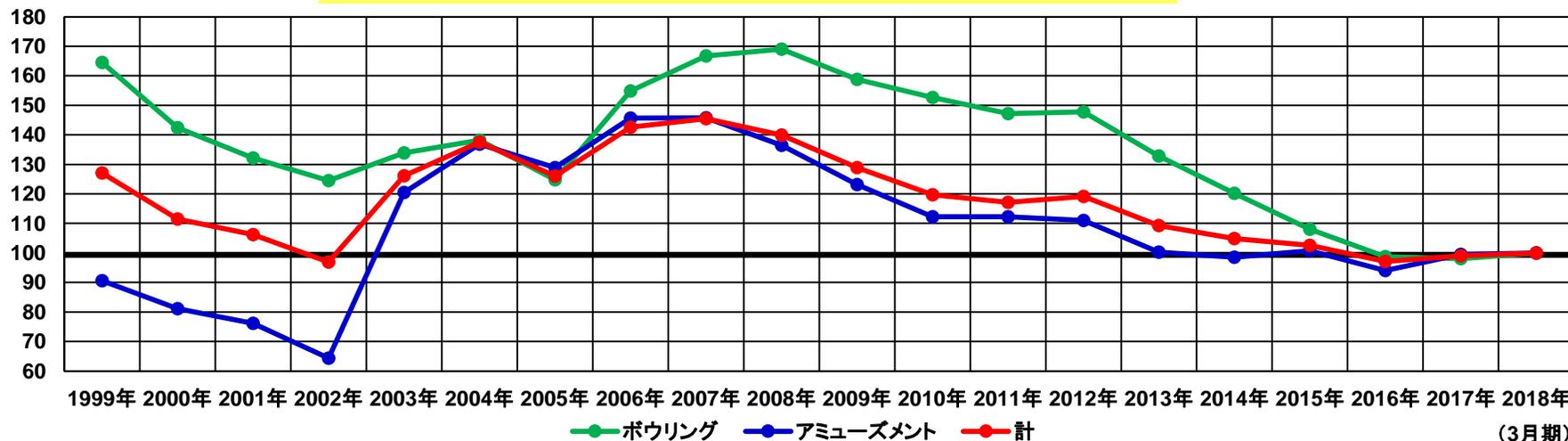


(単位は%)

3月期	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年 計画
ボウリング	△0.5	△10.2	△7.8	△6.1	+7.0	+3.1	△10.7	+19.4	+7.1	+1.4	△6.5	△4.0	△3.7	+0.4	△11.3	△10.5	△11.2	△9.4	△0.7	+1.9
アミューズメント	△5.2	△6.3	△6.6	△18.3	+46.6	+12.0	△6.2	+11.5	+0.1	△6.8	△10.8	△9.8	+0.0	△1.1	△10.7	△1.7	+2.2	△7.2	+5.5	+0.5
カラオケ	-	-	-	-	-	-	-	△4.5	+4.0	△1.2	△7.3	△13.1	+3.4	+15.8	△3.7	△1.8	+0.4	△7.4	+0.6	+0.7
スポッチャ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△16.1	△9.8	△9.2	△4.5	+7.5	+0.2	+5.1	+3.7	+5.0	△2.5	+0.8
その他	△2.5	+13.9	+37.3	+7.8	+21.5	+13.7	△14.3	△11.3	△9.2	+13.2	+11.4	△3.9	△14.5	+1.3	△6.6	△9.9	△1.8	+9.9	+1.2	+1.0
総売上	△2.5	△7.6	△5.0	△9.5	+23.1	+8.3	△9.1	+11.6	+2.0	△4.0	△8.5	△7.7	△2.2	+1.7	△9.0	△4.2	△2.3	△5.6	+1.9	+1.0
既存店舗数	6	10	19	25	38	39	40	46	57	69	79	89	104	106	108	111	111	112	105	107

(単位：%)

既存店国内売上前年比の推移 (2018年3月期を100とした場合)



【注意】カラオケ売上は2001年3月期から2005年3月期までは『その他』に含まれております。

【注意】米国店舗は含んでおりません。

資産等の推移(連結)



(単位未満は切り捨て表示)

3月期	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年 計画
総資産	2,160億円	2,512億円	2,521億円	2,282億円	2,062億円	1,271億円	1,115億円	1,045億円	1,017億円	1,016億円
純資産	723億円	856億円	790億円	798億円	787億円	575億円	516億円	497億円	508億円	525億円
株主資本比率	33.5%	34.1%	31.3%	35.0%	38.2%	45.3%	46.3%	47.6%	50.0%	51.7%
現預金残高	215億円	308億円	227億円	294億円	253億円	251億円	277億円	231億円	201億円	197億円
有利子負債残高	1,179億円	1,388億円	1,361億円	1,109億円	902億円	368億円	270億円	228億円	164億円	134億円
保証債務残高 ①	419億円	318億円	82億円	—	—	—	—	—	—	—
実質有利子負債残高 ②	1,383億円	1,398億円	1,216億円	814億円	649億円	116億円	△6億円	△3億円	△37億円	△63億円
リース債務残高	271億円	259億円	284億円	273億円	246億円	196億円	163億円	160億円	179億円	191億円
リース債務含実質有利子負債残高 ③	1,654億円	1,658億円	1,501億円	1,088億円	895億円	312億円	156億円	156億円	142億円	128億円
当該年度新規リース契約額	145億円	122億円	137億円	106億円	91億円	81億円	71億円	88億円	109億円	105億円

(注) ① 保証債務とは、子会社にて調達した開発期間中のローンに対してラウンドワンが連帯保証するものです。これらは店舗のオープン時期にローンが返済されるため、保証債務は無くなりますが、通常は長期ローンに切り替わる事により有利子負債に計上されます。

② 『実質有利子負債残高』 = (『有利子負債残高』 + 『保証債務残高』) - 『現預金残高』

③ 『リース債務含実質有利子負債残高』 = 『実質有利子負債残高』 + 『リース債務残高』

※ 上記のリースとはアミューズメント機器やカラオケ設備等のファイナンス・リースです。

既存店舗売上対策

◆料金改定（値上げ）実施（2017年5月1日より）◆ 13頁参照

- ・ボウリング：2Gパック50円UP、投げ放題90円UP
- ・カラオケ：ルーム料金30円UP、フリータイム料金60円UP
- ・スポッチャ：全料金100円UP
（店舗、会員ランク、年齢や時間帯により異なる場合があります）

◆イベント実施◆

- ・人気の『ゴールデンボンバー』（ビジュアル系エアバンド）を活用した広告配信実施
- ・イベント達成者へキャッシュバック（1000円）
ボウリング：レッドピンチャレンジやパーフェクト300点チャレンジ
カラオケ：採点ゼロ目チャレンジ
- ・無料キャンペーン
ボウリングとカラオケ：大人1名に対して、小学生以下1名無料



◆健康ボウリング教室（各店舗150名のリーグボウラーを育成）◆

- ・各店舗150名のボウラー×104店舗=1.6万人が目標（現時点では1.3万人）

◆アミューズメントの新機種導入◆

- ・マジカルシューター（コナミ）3月先行導入
- ・UFOキャッチャートリプル（セガ）5月末以降導入予定

◆カラオケルームの大画面モニター導入◆

- ・約4割のルームのモニターを42インチから65インチに変更

◆スポッチャの新アイテム導入◆

- ・スポッチャ店舗で『バランススクーター』を導入
- ・スポッチャ店舗（内、44店舗）で、子供（小学生低学年以下）用の
転びにくいローラースケート『イージーロール』を導入



『UFOキャッチャートリプル』



『マジカルシューター』



『イージーロール』

料金改定(値上げ)について(2017年5月1日より実施)**ボウリングの主な料金改定(値上げ)内容**

- ◆2Gパック・・・50円UP 1,190円(旧料金)⇒1,240円(新料金) 値上げ率：4.2%単価UP
- ◆投げ放題パック・・・90円UP 1,850円(旧料金)⇒1,940円(新料金) 値上げ率：4.9%単価UP

カラオケの主な料金改定(値上げ)内容

- ◆通常料金(30分)・・・30円UP 350円(旧料金)⇒380円(新料金) 値上げ率：8.6%単価UP
- ◆フリータイム・・・60円UP 1,710円(旧料金)⇒1,780円(新料金) 値上げ率：4.1%単価UP

スポッチャの主な料金改定(値上げ)内容

- ◆3時間パック・・・100円UP 2,090円(旧料金)⇒2,190円(新料金) 値上げ率：4.8%単価UP
- ◆90分パック・・・100円UP 1,720円(旧料金)⇒1,820円(新料金) 値上げ率：5.8%単価UP
- ◆フリータイム・・・100円UP 2,340円(旧料金)⇒2,440円(新料金) 値上げ率：4.3%単価UP

なお、料金については、店舗、会員ランク、時間帯、年齢により異なります。

※国内売上の44.6%を占めるアミューズメント売上については料金改定をしておりません。
ボウリング、カラオケ、スポッチャについては、上記の料金体系において、一部の料金改定を実施したものであり、お客様単価としては2~3%程度の上昇を見込んでおります。

出店計画



2018年3月期のオープン予定店舗

(米国：年間10店舗以上の出店を目標)

	オープン予定時期	出店国	店舗名 / 出店予定地域	店舗タイプ	営業面積
1	2017年 7月	米国	(仮称)ブロードウェイ店 / ニューヨーク州ヒックスビル	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,422坪
2	2017年 秋頃	日本	(仮称)吉祥寺店 / 東京都武蔵野市	スタンダード・繁華街	2,012坪
3	2017年 10月	米国	(仮称)クリスタルランガレリア店 / ニューヨーク州ミドルタウン	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,295坪
4	2017年 11月	米国	(仮称)グレイトレイクスクロッシング店 / ミシガン州オーバーンヒルズ	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,454坪
5	2018年 1月	米国	(仮称)フォーシーズン店 / ノースカロライナ州グリーンズボロ	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,734坪
6	2018年 1月	米国	(仮称)ノースウッド店 / イリノイ州ピオリア	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,653坪
7	2018年 春頃	米国	(仮称)サウスタウンセンター店 / ユタ州サンディ	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,346坪
8	2018年 春頃	米国	(仮称)スクエアワン店 / マサチューセッツ州ソーガス	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,253坪
9	2018年 春頃	米国	23号店 (契約締結へ交渉中)	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	—
10	2018年 春頃	米国	24号店 (契約締結へ交渉中)	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	—

2019年3月期以降のオープン予定店舗

	オープン予定時期	出店国	店舗名 / 出店予定地域	店舗タイプ	営業面積
1	2018年 夏頃	米国	(仮称)ノースリバーサイド店 / イリノイ州ノースリバーサイド	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,288坪

米国店舗の現況と今後の出店方針



【2017年3月末現在営業中の15店舗】

	オープン時期	店舗名 / 地域	店舗タイプ	営業面積	収支状況
1	2010年 8月	プエンテヒルズ店 / カリフォルニア州ロサンゼルス	スタンダード・ロードサイド (プエンテヒルズモール内)	1,686坪	好調店舗
2	2012年 9月	モレノバレー店 / カリフォルニア州リバーサイド	スタンダード・ロードサイド (モレノバレーモール内)	1,249坪	平均店舗
3	2013年 8月	レイクウッド店 / カリフォルニア州レイクウッド	スタンダード・ロードサイド (レイクウッドセンターモール内)	1,223坪	好調店舗
4	2014年 10月	ストラットフォード店 / イリノイ州シカゴ	スタンダード・ロードサイド (ストラットフォードスクエアモール内)	1,121坪	低調店舗
5	2014年 12月	アーリントン・パークス店 / テキサス州アーリントン	スタンダード・ロードサイド (ザパークスモールアットアーリントン内)	1,824坪	平均店舗
6	2015年 5月	メインプレイス店 / カリフォルニア州サンタアナ	スタンダード・ロードサイド (メインプレイスモール内)	1,143坪	好調店舗
7	2015年 7月	サウスセンター店 / ワシントン州シアトル	スタンダード・ロードサイド (サウスセンターモール内)	1,171坪	平均店舗
8	2015年 9月	イーストリッジ店 / カリフォルニア州サンノゼ	スタンダード・ロードサイド (イーストリッジモール内)	1,463坪	平均店舗
9	2015年 12月	シルバークロウシティ店 / マサチューセッツ州タウントン ※	スタンダード・ロードサイド (シルバークロウシティガレリアモール内)	1,818坪	低調店舗
10	2016年 5月	グレイブハインミルズ店 / テキサス州ダラス ※	スタンダード・ロードサイド (グレイブハインミルズモール内)	2,285坪	平均店舗
11	2016年 8月	サンバレー店 / カリフォルニア州コンコード	スタンダード・ロードサイド (サンバレーモール内)	1,329坪	好調店舗
12	2016年12月	エクストン店 / ペンシルベニア州エクストン	スタンダード・ロードサイド (エクストンスクエアモール内)	1,673坪	平均店舗
13	2017年 1月	サウスウエスト店 / コロラド州リトルトン	スタンダード・ロードサイド (サウスウエストプラザ内)	1,857坪	平均店舗
14	2017年 3月	ストーンクレスト店 / ジョージア州リソニア	スタンダード・ロードサイド (ストーンクレストモール内)	1,420坪	好調店舗
15	2017年 3月	フォックスバレー店 / イリノイ州オーロラ	スタンダード・ロードサイド (フォックスバレーモール内)	1,453坪	平均店舗

次頁の表の区分『好調店舗』と『平均店舗』と『低調店舗』に色分けしております。色分けは年1回決算時に更新致します。

※キッズパーク事業を行っております。グレイブハインミルズ店2016年10月、シルバークロウシティ店2017年3月より開始。

米国店舗の現況と今後の出店方針



【今後の出店方針の概要】

出店候補地	全米の既存大型ショッピングモール内への直営による居抜き出店(出店対象となるモールは全米で約900施設)
営業面積	42,000SQF(約1,200坪)~64,000SQF(約1,800坪)
商圈人口	半径5マイル(約8km)・・・15万人以上、半径10マイル(約16km)・・・40万人以上
対象顧客	ショッピングモールへの来店客(夜間は大学生を中心とした若年層) ※男女比は50%:50%を想定
平均客単価	約14ドル(1,540円)
売上構成	アミューズメント・・・約60%、ボウリング・・・約18%、飲食・・・約17%、カラオケ(飲食除く)・・・約2%、その他・・・約3%
投資額	約600万ドル(約6.6億円) 内訳:内装関連・・・約2.7億円、アミューズメント機器・・・約2.4億円、その他機器(ボウリング等)・・・約1.1億円、開業費等・・・約0.4億円
リース費用特性	アミューズメント機器は3年償却、その他機器(ボウリング等)は7年償却 ⇒4年目以降はリース料負担が軽減されるために利益額(利益率)が向上

※参考:1 SQF(スクエアフィート) = 約0.0281坪、1マイル = 約1.6Km、1ドル = 110円で計算

【現状：設備投資額及び収支状況】 (注1) ※数値は年1回決算時に更新致します。

区分		好調店舗	平均店舗(注2)	低調店舗
投資額	初期投資額	600万ドル(約6.6億円)	600万ドル(約6.6億円)	550万ドル(約6.0億円)
	総売上	730万ドル(約8.0億円)	595万ドル(約6.5億円)	360万ドル(約4.0億円)
年間 収 支	営業利益(初年度)	110万ドル(約1.2億円)	20万ドル(約0.2億円)	△70万ドル(約△0.8億円)
	営業利益(2~3年度)	150万ドル(約1.7億円)	55万ドル(約0.6億円)	△35万ドル(約△0.4億円)
	営業利益(4年度~)	200万ドル(約2.2億円)	100万ドル(約1.1億円)	10万ドル(約0.1億円)
	営業利益率(4年度~)	27.4%	16.8%	2.8%

(注1) 初年度の営業利益は開業費を含みます。本社費は除きます。(注2) 平均店舗は全店舗での平均値であります。

店舗の状況



出退店・期末店舗数の推移

日本	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
出店数	88	13	11	3	1	3	—	2	1	2	1
退店数	※ 5	※ 2	—	—	—	※ 1	—	—	※ 1	※ 8	—
期末店舗数	83	94	105	108	109	111	111	113	113	107	108

米国	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
出店数	—	—	—	1	—	1	1	2	4	6	9
退店数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
期末店舗数	—	—	—	1	1	2	3	5	9	15	24

連結	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
期末総店舗数	83	94	105	109	110	113	114	118	122	122	132

(注) ※ 17店舗の退店理由 (契約期間満了: 7店、自社競合解消: 6店舗、近隣に大型店を新築: 2店、建替: 1店、テスト店舗の閉鎖 (テスト期間 約2年) : 1店)

日本国内107店舗内訳 (2017年3月末現在)

(注) 米国店舗は、スタンダードタイプのロードサイド店舗であり、賃借のみであります。

形態別				期末店舗数
スタンダードタイプ		スタジアムタイプ		
繁華街店舗	ロードサイド店舗	繁華街店舗	ロードサイド店舗	
10	50	1	46	107

区分別		期末店舗数
賃借店舗	所有店舗	
83	24	

国内外エリア別122店舗内訳 (2017年3月末現在)

(注) 所有店舗には、土地建物所有の8店舗と借地権付建物所有の16店舗を含んでおります。

出店エリア	日本								米国	合計
	北海道・東北	北陸・甲信越	関東	中部・東海	関西	中国・四国	九州・沖縄	合計		
店舗数	11	4	32	12	29	8	11	107	15	122
シェア	9.0%	3.3%	26.2%	9.8%	23.8%	6.6%	9.0%	87.7%	12.3%	100.0%

各種お知らせとIRに関するお問い合わせ先



本資料取扱上のご注意

本資料は投資の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料により被った全ての損害について、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません。なお、本資料は作成日現在の情報をベースにしており、その作成には細心の注意を払っておりますが、その内容についてその実現を保証するものではなく、万が一内容に誤りがあった場合においても、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません（万が一、数値等に誤りを発見した場合には、ホームページ上にて訂正させていただきます）。本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社ラウンドワンに帰属しており、いかなる目的であれ無断で複製又は転送等を行わないようお願いいたします。

IR方針(サイレンス期間)について

当社では、投資家の皆様への公平を期するため、原則として決算発表（四半期決算を含む）の約2週間前よりIRに関する取材をご遠慮頂いております。ただし、事業に関する基本的な内容、過去に発表済の内容、及び現在進行中のイベントや企画に関するお問い合わせや取材等はお受けいたします。以上、皆様のご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。

ホームページへのアクセス先

◎【PC用・スマートフォン用ホームページ】

<http://www.round1.co.jp/> もしくは

◎【携帯用ホームページ】（お客様用/IR情報等なし）

docomo、Soft Bank、au

<http://www.round1.co.jp/mobile/>



※ 携帯電話からの携帯用ホームページへの接続料や通信料(パケット料)はお客様のご負担となりますので、ご注意願います。一部の機種では、モバイルサイトをご覧いただけない場合がございます。

IRお問い合わせ先：株式会社ラウンドワン 管理本部 TEL (072)224-5115